

アカゲラ通信

2016年6月号
(公財)札幌市公園緑化協会 旭山記念公園管理事務所



レストハウス営業中

旭山記念公園レストハウスは 10 時～17 時まで営業しております。
コーヒー、焼きそば、フライドポテト、肉まん、唐揚げ串、クッキー、
ソフトクリームなどをご用意してみなさまのお越しをお待ちしております。



あらためて鳥の名前が変わった話

身近な鳥で、最近「名前が変わった」種があるのをご存じですか？

日本鳥学会では、日本で確認された鳥の生態や生息状況をもまとめた「日本鳥類目録」を刊行しており、この本が鳥類研究者や観察者の指針となっています。

「日本鳥類目録」は 1922 年に初版が刊行されたものですが、その後の研究成果を織り込みながら何度も改訂され、2012 年に最新の DNA 解析などの結果を反映された改訂版である第 7 版が出ました。

今回は第 7 版で大きく変わった部分を、身近な鳥に絡めて話してゆきます。

■「科」が変わった

●ツグミ、ルリビタキなどが属していた「ツグミ科」がなくなり、キビタキやオオルリなどが属する「ヒタキ科」に吸收され、「ツグミ亜科」として「科」のひとつ下のレベルの分類になりました。

つまり、2011 年まではルリビタキとキビタキは別の「科」でしたが、今は同じ「科」ということです。

●「ウグイス科」が 4 つに分かれ、ウグイス、ヤブサメは「ウグイス科」、センダイムシクイは「ムシクイ科」、エゾセンニュウ(旭山では稀)が「センニュウ科」、そしてキクイタダキが「キクイタダキ科」となりました。

ウグイスとセンダイムシクイは外見が似ていてかつては同じ「科」であるのも納得でしたが、分けられたことで野鳥愛好家の間では混乱もみられたようです。

●スズメはかつて「ハタオリドリ科」でしたが、

このたび「スズメ科」になりました。

↑ 嘸るウグイス→



■「目」(もく)が変わった

●ハヤブサはかつてはタカと近い仲間と考えられ「タカ目」「ハヤブサ科」でしたが、DNA 解析の結果それほど近縁ではないことが分かり「ハヤブサ目」「ハヤブサ科」として目が独立しました。

■「種名」=標準和名が変わった

第 7 版で最も大きな変更点は「オオムシクイ」でしょう。

毎年 5 月下旬に最後の夏鳥として南から渡来し、半月ほど滞在してさらに北へ移動するこの鳥、大木にとまって「キチッ ジジロジジロ」と鳴き、旭山でも季節になると普通に存在が確認できる鳥です(目視はやや難)。

この鳥が以前は「ウグイス科」「メボソムシクイ」という名前であり、「メボソムシクイ」は鳴き声など行動様式や繁殖地により 4 つの「亜種」に分けられていた、そのうちの 1 亜種でした。

第 7 版ではまず「科」が「ムシクイ科」に分けられ、さらに「亜種」の 1 種が新たに「オオムシクイ」と標準和名がつけられ独立した「種」となりました。

「メボソムシクイ」は本州以南で繁殖していますが北海道では基本的に見られない種であるため、北海道でその名が話の中に出てくることは少なくなり、代わりに「オオムシクイ」が新登場、というわけです。

亜瓈西社「北海道野鳥図鑑」も、第 7 版に即した「新訂版」が 2013 年に刊行されました。

もし古本屋さんでこの図鑑を見つけた場合、「新訂」とついていないものは第 6 版に準拠した古いものであり、野外識別などには役立ちますが、変わっている部分も多々あるため注意が必要です。

鳥の世界も動いている、いや、鳥を取り巻く人間の思惑も動いているのですね。

次回「早朝野鳥観察会」7月2日(土)

次回の「早朝野鳥観察会」、7月2日(土)に行います(6月は4日(土)に行いました)。

参加ご希望の方は、事前に「森の家」までお電話もしくは直接お越しの上お申し込みください。

定員に達しない場合はHPでお知らせしますので、当日直接「森の家」にお越しください。

●7月2日(土) 6時15分 参加費100円(保険代) 定員:12名

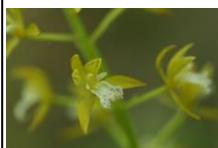
※双眼鏡貸出は数に限りがあるのでご希望の方は事前にお申し付けください。

※※8月以降は朝7時開始となります。



ランの仲間

旭山で5月から6月にかけて見られるランの仲間を3種類写真で紹介します。



コケイラン
5月下旬～6月上旬
旭山では2カ所のみ
確認されていますが
今年は株数が多いです。



ギンラン
5月中旬～下旬
旭山ではごく
少ないです
花の後ろの
出っ張り＝「距」
があるのが特徴



クゲヌマラン
5月下旬～6月上旬
旭山ではちらほらと
意外とよく見られます
花の後ろの
出っ張り＝「距」
がないのが特徴



2016年の桜

2016年の桜は5月4日に満開を迎えましたが、3日から7日まで曇りがちの天気が続き、
青空の下で満開の桜を見ることがほぼできませんでしたが、桜を楽しむことはできました。



左写真は
すべて
2016年
5月4日
撮影

★桜と野鳥3題

桜とキビタキ(左)



桜とコルリ(中)



桜とメジロ(右)



編集後記

旭山記念公園の桜、今年は曇りで気温が低いせいか花が長持ちしました。

毎年花が咲く桜も、年により違った表情を見せてくれますね。

旭山では今年久しぶりにムラサキケマンの花(右)を確認しました。

まだまだ自然について見たいこと知りたいことがたくさんある旭山です。



公式サイト

「アカゲラ通信」 第31号 2016(平成28)年6月4日発行

発行:(公財) 札幌市公園緑化協会 旭山記念公園管理事務所

住所:〒064-0943 北海道札幌市中央区界川4丁目

連絡先:電話 011-200-0311(土・日・祝日10時～16時) FAX 011-200-0351

<http://www.sapporo-park.or.jp/asahiyama/>